

社会科学学習指導案

令和2年10月 第3学年 指導者 小幡 吉則

1 単元名 地方自治と私たち

2 学習指導要領上の位置付け

(2) 民主主義と政治

対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(エ) 地方自治の基本的な考え方について理解すること。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解すること。

イ 地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成することに向けて、次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

3 目標

三角ロジックを用いて、資料を基に根拠をもって自分の意見を言う活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 地方公共団体の政治と国の政治との相違点や、住民の権利や義務について理解する。(知識及び技能)

イ 地方公共団体の政治の仕組みや地方財政、住民の権利や政治参加の方法などについて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。(思考力、判断力、表現力等)

ウ 地方公共団体の政治や住民の権利などについて関心を持ち、政治参加の方法や課題解決の方法について意欲的に調べたり、意見を出し合い考えを深め合ったりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（5／6）

(1) ねらい

生徒が考えた「自分たちの住む町への提言」について発表を聞き、与えられた立場からの意見を交流させることにより、多面的・多角的に、発表された提言について捉え直し、提言できるようにする。

(2) 展開

| 学習活動 ・予想される生徒の反応 | 時間 | ○指導上の留意点 ◎研究上の手立て |
|--|-----|--|
| 1 めあてを確認し、学習内容の見通しをもつ。 ・発表を聞き、提言についての改善点について考えるのだな。 | 5分 | ○代表の班からの発表を目的意識をもって聞けるよう、めあてを提示し、学習内容の見通しをもたせる。 |
| めあて：自分たちの住む町への提言について、違う立場から意見を出し合い、よりよい提言にしよう | | |
| 2 提言を聞き、資料と照らし合わせて考え、発表された提言について与えられた立場から自分の考えをまとめる。 【農家】 ・土地がなくなってしまうため、その保証を考えてほしい。 ・農業と関連したアウトレットモールが欲しい。 【地域住民】 ・地域の店とも協力できるアウトレットモールにしてほしい。 ・地域住民にとって使いやすいものがよい。 【地方公共団体】 ・あまりお金のかからないものがよい。 ・周辺への配慮があるとよい。 | 10分 | ○発表を聞いた上で資料を読み、発表された提言について賛成意見や反対意見を自分が任された立場から考える。 ○それぞれに「農家」「地域住民」「地方公共団体」の立場を与え、提言について考えさせることで、具体的に人々の生活にどう影響していくのかを考えることができるようにする。 ○三者の立場に関連する資料を用意し、その資料を基にして考えることで、多様な視点をもてるようにする。 ◎三角ロジックを用いたワークシートで、自分の意見をまとめ、資料から根拠付けて意見を考えられるようにする。 |
| 2 同じ立場の生徒とともに、意見を出し合い、深めた意見を全体に発表する。 【農家】 ・アウトレットモールの建設と農業の両立ができるといいな。 ・周辺の環境への影響が心配だから環境に配慮したものだといいな。 【地域住民】 ・今ある商店への影響が心配だから、周辺の商店と協力できるようなアウトレットモールが欲しいな。 ・観光客が来るのは嬉しいけど、渋滞や治安の面で不安があるから、そういった点にも配慮したアウトレットモールが欲しいな。 【地方公共団体】 ・住む地域だけでなく、周辺の観光地などとも関連付けた提案があるとよい。 ・道路の整備など税金を使うことも出てくるから、後々市の税収があがるなどある程度収益 | 10分 | ○同じ立場の生徒と意見を交流することで、自分の意見を補強できるようにする。 ○互いに同じ立場の生徒と意見交流をさせ、違う立場の生徒との意見交流の際に、自信をもって発表ができるよう配慮する。 ○根拠をもって発表ができるように三角ロジックを意識させる。 ○自分の意見との相違点について考えながら発表を聞き、互いに質問をしながら意見を交流させることで意見をより具体的にし、深められるようにする。 |

| | | |
|--|-----|--|
| が見込めるものだといいな。 | | |
| <p>3 三者の立場で構成された班に戻り、提言についての改善策について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトレットを作り、得られた税を駅周辺の開発に使うなど町のために使う工夫をする。 ・町に住む若者に向けてアピールし、働き口として地域住民と結び付きをもち、人口流出を防ぐ工夫をする。 ・農家の方は土地を売ってしまうことに不安を感じると思うので、賃貸契約を結び、継続的に収入を保障する。 | 10分 | <p>○違う立場の生徒で構成された班で意見交流を行うことで、多様な立場・視点からの提言について考え、改善策を深められるようにする。</p> <p>◎違う立場の生徒と意見交流を行い、出された意見を更に自分の意見の根拠にし、自分の意見を深められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・発表を聞き、自分に割り当てられた立場から意見を考え、進んで改善点について表現している。</p> <p style="text-align: right;"><記述・発言(3)></p> </div> |
| <p>4 話し合っ出て出された改善策を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外や市外から人を呼び込むだけでなく、地域住民にとって直接メリットになるような開発が必要だな。 ・その時だけのことでなく、長い目で見て持続可能であるかどうかの視点が大切だな。 | 10分 | <p>○全体に向けて発表することで、それぞれの意見を参考にし、更に自分の意見を深められるようにする。</p> <p>○発表を聞く際は、受容的に聞き、否定的な態度にならないよう配慮する。</p> |
| <p>5 自分たちの班の提言について見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの班の提言にも似たようなことが言えるな。 ・色々な立場に立って見直そう。 | 5分 | <p>○考えたことや発表された改善策を基に、自分たちの班の提言を見直すことで、多面的・多角的な視点で物事について考えることを意識付ける。</p> |

6 板書計画

| | | | | | | | | |
|--|---|--|----|----|----|----|----|----|
| めあて | | | | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パワーポイントの抜粋</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パワーポイントの抜粋</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パワーポイントの抜粋</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 100px;"> <p style="text-align: center;">考えのポイント</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">各班の改善策</div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">1班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2班</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">3班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">4班</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">5班</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">6班</td> </tr> </table> | 1班 | 2班 | 3班 | 4班 | 5班 | 6班 |
| 1班 | 2班 | | | | | | | |
| 3班 | 4班 | | | | | | | |
| 5班 | 6班 | | | | | | | |

指導計画 社会科 第3学年 単元名「地方自治と私たち」(全6時間計画)

| | | | |
|------|--|--|---|
| 目標 | <p>三角ロジックを用いて、資料を基に根拠をもって自分の意見を言う活動を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 地方公共団体の政治と国の政治との相違点や、住民の権利や義務について理解する。(知識及び技能)</p> <p>イ 地方公共団体の政治の仕組みや地方財政、住民の権利や政治参加の方法などについて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 地方公共団体の政治や住民の権利などについて関心を持ち、政治参加の方法や課題解決の方法について意欲的に調べたり、意見を出し合い考えを深め合ったりしようとする。(学びに向かう力、人間性等)</p> | | |
| 評価規準 | <p>(1) 地方公共団体の政治は住民の生活と密接に結び付いていること、また、住民の権利や政治参加の方法などについて関心を持ち、地域社会の一員としてよりよい生活環境を考えることの重要性を理解している。</p> <p>(2) 地方公共団体の政治の仕組みや地方財政、住民の権利や政治参加の方法などについて、資料から必要な情報を読み取り、それを基に思考・判断したことを論理的に表現している。</p> <p>(3) 地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利などについて関心をもって資料を読んだり、調べたりして自ら政治参加の方法や課題解決の方法について考えようとしている。</p> | | |
| 過程 | 時間 | <p>○ねらい ☒めあて</p> | <p>・振り返り(意識)</p> <p>評価項目 〈方法(観点)〉</p> |
| つかむ | 1 | <p>○自分たちの住む市の行政についての資料から、地方公共団体の政治の特色について話し合わせることを通して、地方公共団体の政治が住民生活に密接に関わっていることを理解させる。</p> <p>地方公共団体の政治は住民生活とどのように関わっているか。</p> | <p>・地方公共団体の政治はその地方ごとに気候や環境、住んでいる人々に合わせた政治が行われていて、住民の生活に密接に関わっていることが分かった。</p> <p>・地方公共団体の部署名や実際に行われている取組から、住民の生活との関連について考え発言したり、自分の意見を書いたりしている。 〈ノート・発言(2)〉</p> |
| 追究する | 1 | <p>○地方公共団体の政治の仕組みについて、国の政治の仕組みと比較することを通して、地方公共団体と国の政治の仕組みとの相違点を理解させる。</p> <p>地方公共団体の政治の仕組みを、国の政治の仕組みと比較してまとめよう。</p> | <p>・直接民主制の考え方から、住民の意見が直接反映されることが分かった。</p> <p>・国の政治で取り入れられている三権分立のように、首長と議会とで抑制し合う関係であることが分かった。</p> <p>・国の政治と地方公共団体の政治との比較を通して、国の政治と地方公共団体の政治との相違点についてまとめたり、発言したりしている。 〈ワークシート・発言(1)〉</p> |
| | 1 | <p>○自分たちの住む市の予算や人口の推移を表した資料から、地方財政の仕組みや税収と人口との関連などについて話し合う活動を通して地方財政が抱える課題について理解させる。</p> <p>地方公共団体が使うお金はどこからくるのか。またどのような課題があるのか考えよう。</p> | <p>・地方は人口が減ることで、依存財源に頼ることが多くなるが、あまりそこばかり頼ると実際に行いたい政治にお金が使えない場合があるため、頼りすぎはよくないことが分かった。</p> <p>・人口が減ってきていることで、地方税が減り税金が減ることで予算が減ってきていることが分かった。</p> <p>・実際の予算の様子について人口の推移などと関連付けて考え地方財政が抱える課題について発言したり、自分の意見を記述したりしている。 〈ワークシート・発言(3)〉</p> |
| | 1 | <p>○実際に行われた住民の政治参加についての資料を読み、自分たちの地域に置き換え、地域が抱える課題やどのような政治参加が考えられるかなどについて話し合う活動を通して、自分なりの意見を持ち、地域に関わろうとする意欲をもたせる。</p> <p>どのようにすれば自分たちがより住みやすい町をつくれるだろうか。</p> | <p>・住民生活に関わることについては、住民投票が行われたり、オンブズパーソン制度や直接請求権、請願権など、住民の意見を反映させるための仕組みがたくさんあったりすることが分かった。自分たちの地域では、登下校の際に街灯が少なく、危険であることなどについて、請願をすることができ分かった。</p> <p>・住民の政治参加の事例を基にして、身近な問題と関連付けて考え、意見交流を通して自分なりの関わり方を考え、記述したり、発言したりしている。 〈記述・発言(2)〉</p> |

| | | | | |
|------|-----------|---|---|---|
| まとめる | 1 (本時) | <p>○生徒が考えた自分たちの住む町への提言について、一つの班の提言を例に、「農家・地域住民・地方公共団体」の三者の視点から改善策について意見を出し合い、考えを深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>違う立場から提言について意見を出し合い、よりよい提言にしよう。</p> </div> | <p>・立場や生活の仕方などによっても意見が異なり、それらに配慮し納得する形で政治を行うことの難しさが分かった。また、今ある状況を変えるためには、お金や土地など色々な配慮が必要であることが分かった。</p> | <p>・発表を聞き、自分に割り当てられた立場から意見を考え、進んで改善点について発表している。</p> <p><記述・発言(3)></p> |
| | 1 | <p>○各グループが発表した「自分たちの住む町への提言」について、有効度、実現可能性の面から評価し合い、出された意見を基に提言を練り直すことを通して、多面的・多角的に自分たちの住む町が抱える課題について捉えることの大切さに気づき、政治が様々な面に配慮して行われていることを理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各グループの案について、赤城町の活性化に有効であるか、また実現可能性が高いか考えよう。</p> </div> | <p>・立場や生活の仕方などによっても意見が異なり、それらに配慮し納得する形で政治を行うことの難しさが分かった。また、今ある状況を変えるためには、お金や土地など色々な配慮が必要であることが分かった。</p> | <p>・若者の意見だけでなく、高齢者の意見など立場が異なり人への配慮や、予算や土地の利用の仕方など色々な面での配慮を行うことで政治が行えることについて発言したり、記述したりしている。</p> <p><記述・発言(3)></p> |